

## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年1月26日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社カイノス

コード番号 4556 URL <http://www.kainos.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上地史朗

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長

(氏名) 黒谷理

TEL 03-3816-4123

四半期報告書提出予定日 平成24年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	3,520	5.3	153	△12.3	149	△11.6	78	29.4
23年3月期第3四半期	3,344	7.1	174	△1.2	169	6.3	60	△23.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	17.61	—
23年3月期第3四半期	13.61	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
24年3月期第3四半期	5,877		2,740		46.6	
23年3月期	5,788		2,696		46.6	

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 2,740百万円 23年3月期 2,696百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
24年3月期	—	0.00	—		
24年3月期(予想)				7.50	7.50

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,710	1.5	215	△4.4	196	△10.2	109	45.5	24.59

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	4,558,860 株	23年3月期	4,558,860 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	107,237 株	23年3月期	105,753 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	4,452,387 株	23年3月期3Q	4,453,164 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の2ページをご参照ください。

## 添付資料の目次

		頁
1	当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
	（1） 経営成績に関する定性的情報 .....	1
	（2） 財政状態に関する定性的情報 .....	1
	（3） 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2	サマリー情報（その他）に関する事項.....	2
	（1） 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	2
	（2） 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	2
3	継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	2
4	四半期財務諸表 .....	3
	（1） 四半期貸借対照表 .....	3
	（2） 四半期損益計算書 .....	4
	（3） 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	5
	（4） 継続企業の前提に関する注記 .....	6
	（5） セグメント情報 .....	6
	（6） 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における我が国経済は、欧州財政問題の混迷及び米国景気の先行き不透明感等による世界的な景気後退懸念から通貨や株式市場は円高や上値の重い状況で推移しております。また、東日本大震災や原発事故被害による影響等も重なって企業業績や個人消費及び雇用情勢は低迷した状態が続いており、その先行きが懸念される状況にあります。

このような状況の下、当第3四半期累計期間の売上高は、35億2千万円（前年同期比5.3%増）となりました。検査分野別で見ると、生化学分野におきましては、前事業年度に引き続き好調な推移を示したことにより11億4千8百万円（前年同期比8.4%増）となりました。免疫分野におきましても、アレルギー診断薬が引き続き好調な伸びを示したことにより22億1千万円（前年同期比4.7%増）という結果になりました。また、その他の分野におきましては、機器関連等の売上減少により1億6千2百万円（前年同期比6.7%減）となりました。

営業利益及び経常利益につきましては、輸血事業の立ち上げに伴う販売管理費等の増加により、販売費及び一般管理費が2千1百万円（前年同期比2.1%増）増加したことにより、それぞれ1億5千3百万円（前年同期比12.3%減）、1億4千9百万円（前年同期比11.6%減）となりました。四半期純利益につきましては、7千8百万円（前年同期比29.4%増）となりました。

検査分野別売上高

(単位：千円)

区 分	期 別	前第3四半期累計期間 〔自平成22年4月1日 至平成22年12月31日〕		当第3四半期累計期間 〔自平成23年4月1日 至平成23年12月31日〕	
		金 額	構成比	金 額	構成比
製 品	生化学的検査用試薬	996,634	29.8	1,079,698	30.7
	免疫血清学的検査用試薬	285,671	8.5	240,760	6.8
	そ の 他	147,785	4.5	144,960	4.1
	計	1,430,092	42.8	1,465,420	41.6
商 品	生化学的検査用試薬	63,052	1.9	68,581	1.9
	免疫血清学的検査用試薬	1,824,917	54.6	1,969,495	55.9
	そ の 他	26,309	0.7	17,492	0.5
	計	1,914,279	57.2	2,055,569	58.4
合 計	生化学的検査用試薬	1,059,687	31.7	1,148,280	32.6
	免疫血清学的検査用試薬	2,110,589	63.1	2,210,256	62.8
	そ の 他	174,095	5.2	162,453	4.6
	計	3,344,371	100.0	3,520,990	100.0

- (注) 1. 金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。  
2. 数量については、取扱品目が多岐にわたり数量表示が困難なために記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産の額は、58億7千7百万円となり、前事業年度末と比べ8千8百万円の増加となりました。その主な内容は、以下のとおりです。

流動資産は、24億4千2百万円となり、前事業年度末と比べ6千7百万円減少いたしました。その主な要因は、売上増加及び輸血事業の開始並びに製品構成の変化等により商品及び製品が7千8百万円増加したものの、受取手形及び売掛金の回収が進んだことにより1億円減少した他、その他2千3百万円の減少によるものです。

固定資産は、34億3千4百万円となり、前事業年度末と比べ1億5千5百万円の増加となりました。有形固定資産は、28億7千万円となり、前事業年度末と比べ8千7百万円の増加となりました。その主な要因は、減価償却の進捗による一方、笠間事業所の建物改修工事4千8百万円及び製造設備の増改築工事3千2百万円並びに製造用機械装置6千3百万円の投資等を行ったことによるものです。無形固定資産は、5千3百万円となり、前事業年度末と比べ2千4百万円の減少となりました。その主な要因は、基幹業務に係るソフトウェアの償却が進んだためです。投資その他の資産は5億1千万円となり、前事業年度末と比べ9千2百万円の増加となりました。その主な要因は、長期預金の預け入れによるものです。

当第3四半期会計期間末の負債の額は、31億3千6百万円となり、前事業年度末と比べ4千4百万円の増加となりました。その主な内容は、以下のとおりです。

流動負債は26億8千8百万円となり、前事業年度末と比べ2億2千6百万円の増加となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が2千3百万円及び賞与引当金が4千3百万円減少した一方で、短期運転資金の調達及び長期借入金からの振り替えにより短期借入金が2億7千9百万円増加したことによるものです。

固定負債は、4 億 4 千 8 百万円となり、前事業年度末と比べ 1 億 8 千 1 百万円の減少となりました。その主な要因は、長期借入金の返済及び短期借入金への振り替え等により 1 億 7 千 9 百万円減少したことによるものです。

当第 3 四半期会計期間末の純資産の額は、2 7 億 4 千万円となり、前事業年度末と比べ 4 千 3 百万円の増加となりました。その主な要因は、配当金 3 千 3 百万円の支払いを行った一方で、四半期純利益 7 千 8 百万円を計上したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第 3 四半期累計期間における現金及び現金同等物 (以下「資金」という) の残高は 8 億 5 千 7 百万円となり、前事業年度末と比べ 8 千 8 百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は 1 億 3 百万円 (前年同四半期は 2 億 9 百万円の増加) となりました。その主な要因は、法人税等の支払い 8 千万円、たな卸資産の増加 6 千 7 百万円、仕入債務の減少 3 千 1 百万円及び賞与引当金の減少 4 千 3 百万円などにより資金が減少したものの、その一方で、税引前四半期純利益 1 億 4 千 9 百万円、減価償却費 1 億 1 千 5 百万円及び売上債権の減少 1 億円等により資金が増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は 6 千 7 百万円 (前年同四半期は 4 千 2 百万円の支出) となりました。その主な要因は、製造機器及び設備の増改築等 6 千 8 百万円を実施したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により増加した資金は 5 千 2 百万円 (前年同四半期は 3 千 7 百万円の支出) となりました。その主な要因は、配当金の支払い 3 千 3 百万円及び長期借入金の返済 3 億 3 千 9 百万円等により減少したものの、その一方で、短期運転資金の調達により 2 億 4 千万円及び長期借入れによる調達 2 億円等により資金が増加したことによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今後の国内経済は、欧米諸国の財政問題等による世界景気の先行き不透明感及びそれらの問題を背景とした為替相場や株式市場への影響懸念から、企業収益と雇用環境については、回復も進まず、低迷した状況で推移するものと思われまます。臨床検査業界におきましても、医療費政策や企業間競争の影響により経営環境は、ますます厳しさを増していくものと思われまます。

通期業績につきましては、平成 23 年 5 月 10 日付「平成 23 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」でお知らせした予想の見直しは行っておりまます。

2. サマリー情報 (その他) に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありまます。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありまます。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありまます。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,008,515	997,006
受取手形及び売掛金	1,129,684	1,029,633
商品及び製品	122,481	200,742
仕掛品	54,142	44,693
原材料及び貯蔵品	117,798	116,670
その他	80,462	56,914
貸倒引当金	△2,900	△2,900
流動資産合計	2,510,185	2,442,760
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	781,865	823,789
土地	1,851,453	1,851,453
その他（純額）	148,893	194,798
有形固定資産合計	2,782,211	2,870,041
無形固定資産	78,441	53,858
投資その他の資産	417,831	510,437
固定資産合計	3,278,484	3,434,337
資産合計	5,788,669	5,877,097
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	903,886	880,008
短期借入金	1,141,030	1,420,560
未払法人税等	46,000	4,543
賞与引当金	94,668	51,500
その他	276,494	332,000
流動負債合計	2,462,079	2,688,612
固定負債		
長期借入金	507,630	328,550
その他	122,276	119,598
固定負債合計	629,906	448,148
負債合計	3,091,985	3,136,760
純資産の部		
株主資本		
資本金	831,413	831,413
資本剰余金	928,733	928,733
利益剰余金	1,021,339	1,066,368
自己株式	△89,910	△90,278
株主資本合計	2,691,575	2,736,236
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,108	4,101
評価・換算差額等合計	5,108	4,101
純資産合計	2,696,684	2,740,337
負債純資産合計	5,788,669	5,877,097

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	3,344,371	3,520,990
売上原価	2,161,150	2,337,877
売上総利益	1,183,221	1,183,112
販売費及び一般管理費	1,008,508	1,029,831
営業利益	174,713	153,281
営業外収益		
受取利息及び配当金	6,481	7,092
為替差益	4,064	905
受取賃貸料	6,687	6,592
その他	5,429	5,177
営業外収益合計	22,663	19,768
営業外費用		
支払利息	21,114	17,510
手形売却損	478	673
賃貸費用	3,811	2,424
その他	2,378	2,525
営業外費用合計	27,782	23,133
経常利益	169,594	149,916
特別利益		
固定資産売却益	146	—
投資有価証券売却益	4,357	—
特別利益合計	4,504	—
特別損失		
固定資産売却損	—	54
固定資産除却損	9,693	324
投資有価証券評価損	51,565	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,600	—
特別損失合計	64,858	378
税引前四半期純利益	109,239	149,537
法人税、住民税及び事業税	47,150	42,310
法人税等調整額	1,500	28,800
法人税等合計	48,650	71,110
四半期純利益	60,589	78,427

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	109,239	149,537
減価償却費	106,988	115,438
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,600	—
売上債権の増減額 (△は増加)	28,077	100,051
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△12,165	△67,685
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,663	△31,678
投資有価証券評価損益 (△は益)	51,565	—
その他	12,286	△71,952
小計	304,254	193,711
利息の支払額	△20,373	△16,181
法人税等の支払額	△80,709	△80,862
その他の収入	6,445	7,078
営業活動によるキャッシュ・フロー	209,617	103,744
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△52,625	△68,371
有形固定資産の売却による収入	—	274
定期預金の預入による支出	△100,000	△100,000
定期預金の払戻による収入	100,000	100,000
投資有価証券の売却による収入	8,800	500
その他	1,033	△382
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,792	△67,978
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△10,000	240,000
長期借入れによる収入	200,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△183,700	△339,550
配当金の支払額	△33,642	△33,189
その他	△10,303	△14,530
財務活動によるキャッシュ・フロー	△37,646	52,730
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12	△5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	129,166	88,490
現金及び現金同等物の期首残高	663,745	768,515
現金及び現金同等物の四半期末残高	792,911	857,006



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社は、臨床検査薬の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。